太宰府中学校3学年だより

No.17　　R4.12.19　　文責：3年学年主任

○○○○の25カ条

　先日の道徳の授業で「宝塚音楽学校をめざす少女」の映像を見ました。
　宝塚音楽学校とは、兵庫県にある専修学校で、宝塚歌劇団の養成所として設立された女学校です。
　毎年40人の定員に対して1000人近い生徒が受験する難関校で、「東の東大・西の宝塚」とも喩えられています。その学校に合格すべく奮闘する少女たちの姿が主に描かれていました。
　指導される先生の厳しい声にもめげることなく直向きに練習する姿、娘の合格を祈って支える家族の姿、どの場面をとっても、今の皆さんにあてはまることばかりだったのではないでしょうか。

　宝塚歌劇団とは、舞台で歌と踊りを披露して、お客様に夢を与え、喜んでもらう仕事です。この歌劇団には、一流の舞台人「タカラジェンヌ」としてあり続けるために、この歌劇団には「ブスの25カ条」という教訓があるそうです。歌劇団の人々は、必ず足を止めてこの教訓を読んでいたそうです。
　一部を紹介しますと・・・

＊笑顔がない
＊お礼を言わない
＊いつも口がへの字の形をしている
＊自分が最も正しいと信じ込んでいる
＊いつも周囲が悪いと思っている
＊人のアドバイスや忠告を聞き入れない
＊愚痴をこぼす
＊他人をうらやむ
＊何でもないことに傷つく
＊悲観的に物事を考える
＊おいしいと言わない
＊謙虚さがなく傲慢である
・・・・などです。

　どうでしょう。この中で、自分に思い当たることがどれかありますか。
　恥ずかしながら、こうやって学年通信に書いている私もギクッとすることばかりです。（反省）
　この教訓は何も「宝塚歌劇団」特有のものではなく、女性だけを対象としたものではなく、人としてあるべき姿を逆説的に示したものではないかと思います。

　宝塚音楽学校をめざして稽古に励んでいた少女たちも、今の皆さんも、立ち位置は同じだと思います。
　合格の夢や願望だけでなく、「人としてよく生きたい」という思いは誰でももっているはずです。
　受験が間近になった今だからこそ、焦りや不安にかられたときに、ちょっと立ち止まって、「自分、今どれかにあてはまっていないかな」と振り返ってみてはどうでしょうか。見直すだけでも、心にゆとりができると思います。不安を安心に変えて、運を引き寄せて前に進んでほしいと思います。

　表現が厳しいところもある「ブスの25カ条」は、逆の形で表されています。「美人の25カ条」として表されている教訓は、実は学年棟のどこかに掲示されています。気づいていましたか。

❀PTA主催の3年生激励が行われました❀

　太宰府中学校は、数年前からPTA主催による3年生の激励会が行われています。
　本年度は、近隣の太宰府高校芸術科「書道専攻」の方々に来て頂き、激励の揮毫を書いて頂きました。
　激励会当日、14名の芸術科の生徒さんと先生方が来校されました。皆元気に挨拶して、礼儀正しい生徒さんばかりでした。彼らはすぐ揮毫の準備に取りかかるために体育館に行きました。冷え切った体育館でも誰一人寒いと言わず、裸足になって黙々と準備とリハーサルを行っていました。その様子を見て、さすが高校生だなと感心すると同時に、書道科で学んでいることへの誇り高さを感じました。
　皆さんが入場して始まった揮毫。毅然と整列した高校生は、3m×5mの大きな紙に向かって一礼し、書きはじめました。書いている間、中腰の体は全くふらつかず、音楽に合わせて静かに書きあげました。
　大きな筆で書く人も、細い筆で書く人も、一文字一文字に魂を込めるように書く姿を見て、皆さんもその気迫を感じたのでしょう、誰もが黙って、食い入るように見つめていました。
　揮毫された言葉は次のような文章でした。

「輝煌」（きこう）
何気ない日常にありがとうを伝えたい
どんなに小さなことでも感謝の気持ちを忘れない
その先には幸せが待っている
明るい笑顔が希望の源となる　　輝かしい未来に幸あれ

　完成した作品を持ち上げて皆さんに見せながら、高校生が次のようなメッセージを伝えてくれました。
　「長引くコロナ渦やこれから入試を迎える皆さん、不安なことや苦しいこともあるでしょうが、皆さんのことを家族や友達、先生方が応援していることを忘れないで、周りに感謝しながら頑張って下さい。」
　心のこもった言葉に、寒い体育館が暖まったような雰囲気になりました。

　その後、3年生の皆さんで揮毫のまわりに意気込みを書きました。
　「○○高校合格！」という強い意気込みや「全員合格！」「みんなで笑って合格」という思いやりあふれる意気込みもあり、皆さんらしさを感じました。
　最後に、PTA学年委員さんから、最上級生としてこれまで学校を引っ張ってくれた労いと、励ましを込めた贈り物が進呈されました。カイロやメッセージ入りチョコなど、PTAの方の思いが込められたすてきな贈り物でした。
　この激励会を実施するために、PTA学年委員さんは6月から時間をかけて準備して下さいました。「3年生全員が参加できて、思い出に残る激励会にするにはどんな催しがいいだろう」と考えてくださり今回の激励会になりました。大変だった事だと思います。本当にありがたいことです。
　今回の激励会を通して、皆さんは「一人ではない」ことを学んだと思います。年が明けたら入試が本格的に始まります。周りがいつも温かく見守っていることに感謝の心を持ち続ければ、入試も無事に越えられます。あと一息、一緒に頑張っていきましょう。

保護者の皆様
　先月28日～今月6日の三者面談には、ご多用な中にお時間をつくっていただきありがとうございました。短い時間での対応でしたが、どのご家庭も笑顔で接して頂き感謝しております。
　保護者の方から「お世話になっております」「子どもの進路の件でいろいろと資料を取り寄せてくださってありがとうございます」「先生も罹患されないように気をつけてください」などとたくさんの温かい言葉をかけてくださったことに、感謝でいっぱいでございます。
　また、先週3日間は、感染拡大防止のために急遽学年閉鎖を実施しました。ご家庭でも準備などで大変だったことでしょうが、オンライン授業などにご協力いただきありがとうございました。
　年末が近づくとともに、感染拡大が懸念される昨今です。保護者の皆様も、どうぞ健康には留意されてお過ごしくださいませ。